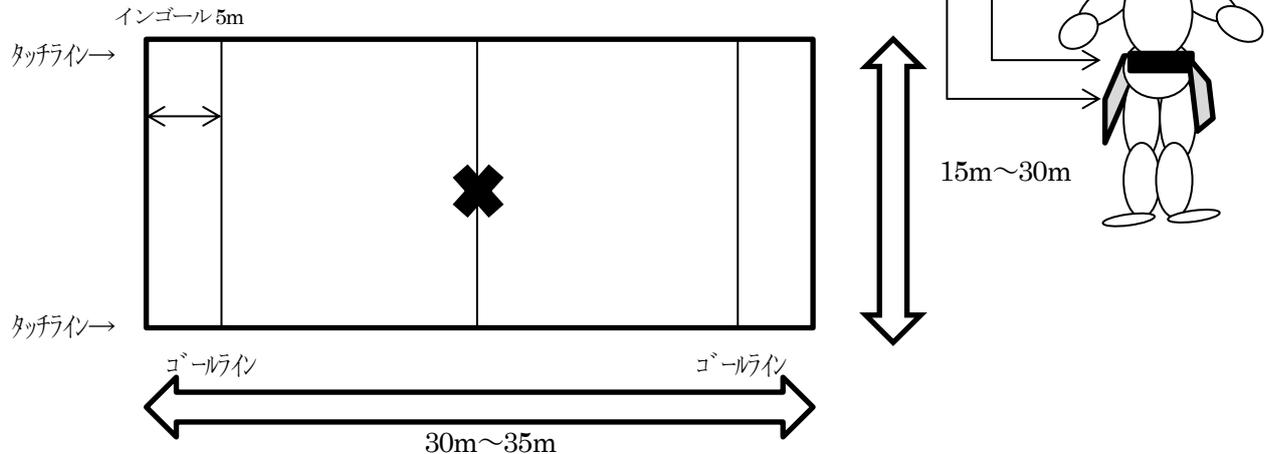


○ 基本的なルール : タグラグビー

○準備物 : タグ・タグベルト (人数分)、ラグビーボール (ゲームでは1個)

○コート



○人数と時間 : 1 チーム 4 人 (初期段階) ~5 人まで
5~7 分ハーフ (体力や気候に応じて)

○ゲームの始め方

- ・じゃんけんでボールを選んだチームが **X** から後方へのパス (フリーパス) で始める。
(パスをもらう子は 2m 以内の近距離で止まってもらう。ディフェンス側はセンターラインより 5m 以上離れる。)

○ゲームの進め方と得点

- ・攻める側のプレーヤーが相手側インゴールの中にボールを持って走り込み、ボールを置けば「トライ」となり 1 点入る。(点が入ったら、中央の **X** からフリーパスで再開する。)
- ・パスは自分より前方でなければ、いつ、誰にしてもかまわない。
前方に投げればスローフォワードという反則になり、その場から相手のフリーパスになる。

☆**タグについて**

ボールを持って走っている相手側のプレーヤーのタグを取ることで、相手の動きを止めることができる。タグを取ったら頭上に上げて「タグ」と叫ぶ。取られた側はすぐに止まり、3 歩以内もしくは 3 秒以内に味方にパスをする。(このパスをディフェンス側はカットできない。すれればオフサイドという反則になる。) このパスは走りながら受け取ることができる。(むしろ走ってもらうことが大切)
審判は「タグ 1」「タグ 2」と数え、タグ 4 になれば、ターンオーバーで、その位置から相手側のボールになる。
ゴールラインを越えた位置でのタグは、ゴールラインより 5m 下がった位置からのフリーパスで再開する。
取ったタグは必ず手渡しで返す。その間はどちらもプレーできない。(手渡し完了で復帰)

☆**反則について**

オフェンス側 : タグを取られないように隠したり、取りに来た手を払ったりすること。
: タグを取られた後、3 歩以上進むこと。(オーバーステップ)
: タグを取られないようにくるくる回ったり、相手にぶつかって行ったりすること。
ディフェンス側 : ボールを持った相手の体に接触したり、手を広げて守ったりすること。
どちら側でも反則になること
: ボールを蹴る、地面に向かってダイビングしてボールを取ったりトライしたりすること。
→反則があった場合は、その位置から相手側のフリーパスになる。(ディフェンス側の反則の場合、タグのカウントは 0 に戻る。) フリーパスの時、相手は 5m 以上離れなければならない。タッチラインからボールが出たり、ボールを持ったプレーヤーがタッチラインを踏んだりした場合も同じ。